

水道料金 20% 値上げ NO!

水道料金を来年5月から20%値上げする条例案が、9月議会に提案されました。値上げは美野里・小川地区の水道で、1世帯平均年8000円、総額1億4000万円にのぼります。

物価高で大変なとき、「生活に欠かさない水道を値上げすべきでない。30億円ある財政

調整基金を活用すれば、値上げせずにすむ」と主張し、**日本共産党は議会で反対。**

しかし、ほかの議員は全員賛成で値上げを認めてしまいました。

「負担増は困る!」「暮らしを守れ」と声を上げ、**値上げを撤回させましょう。**



国保税も

所得に対して重い負担の国保税。市が課税方式を変更したため、昨年度は約1,400世帯が値上げに。今年度は国保税の最高額を年104万円に引き上げ、負担は増えるばかりです。日本共産党は、引き下げを強く主張しています。

介護保険料も

年金天引きの介護保険料の料金改定が来年度に予定されています。3年ごとに引き上げられてきた保険料の、これ以上の負担増をストップさせましょう。



給食費	小学生(月額)	中学生(月額)
小美玉市	3,400円	3,700円
石岡市	当面、来年3月まで無料	
鉾田市	2026年3月まで無料予定	
水戸市	中学生から無償化スタート	
潮来市	小・中学生とも無償化実現	

学校給食を 無償に



各地で給食費の無償化がすすんでいます。

憲法第26条は、**義務教育は無償**としており、教育の一環である給食は国が無償にし、地元農産物を活用した安全な給食を子どもたちに提供すべきです。

教育予算が少ない日本を変えるた

め、まずは市町村が教育費の負担軽減に取り組み、国を動かしましょう。

日本共産党は、**教員を増やし**、大学・短大・専門学校など**高等教育無償化**をめざします。だれもお金の心配なく学べる社会を実現しましょう。



●小美玉市は、鶏卵産出額が日本トップクラス。れんこん・ニラ・イチゴなどの豊かな農産物が給食や食卓を支えています。

ロシアのウクライナ侵攻

イスラエル・ガザ紛争

敵基地攻撃ミサイル・軍事費2倍

子どもを殺すな! いのち・くらしをまもれ



「攻められたらどうする」と軍備を拡大すれば、国と国との軍事的緊張は高まるばかりです。**武力で平和はつくれません。**

日本共産党は、戦争を繰り返さないと誓った平和憲法9条を守ります。自衛隊員を戦地に送り、命を危険にさらすことは絶対にあってはなりません。



民間機(茨城空港)と共用の百里自衛隊基地

東海第二原発の再稼働ストップを

小美玉市は、原発事故に備えて避難者受け入れ計画を策定中ですが、過酷事故になれば小美玉市民も避難する可能性があります。

日本共産党は、危険な再稼働に反対をつらぬき、再生可能エネルギーを広げます。



太平洋側から見た東海第二原発

マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」は、利便性の向上どころか手間が増大し、トラブル続出です。にも関わらず、政府は来年秋に**保険証を廃止**する方針であり、日本共産党は「廃止せず継続すべき」と岸田政権を追及。

マイナンバーカードに様々な個人情報のひもづけを強要するのは問題です。



年金で入れる**介護施設**を増やしてほしいという願いは切実です。

老々介護や介護離職などで家族が追いつめられないよう、在宅サービスを拡充し、現場で働く**労働者の処遇を改善**して、介護を支えることが行政の役割です。



空のえき「そ・ら・ら」の**拡張整備**が、18億円かけてすすめられようとしています。しかし、市民から「年間6千~8千万円も市が赤字補てんしているなんて知らなかった」などの声が寄せられています。



市民意見を反映するため、立ち止まって検討すべきです。

農業資材、燃料、肥料・飼料・・・何もかも値上がりしているのに価格転嫁できず、農家が苦しんでいます。

日本共産党は、農産物の輸入自由化を押し付け**食料自給率を低下**させてきた自民党農政をただします。次の世代に安心して農業を引き継げるよう、▽「食料」を安全保障の柱にする▽欧米並みに国が農業支援を行うことをめざします。

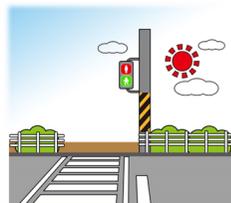


市民の願い、地域の願い実現へ 日本共産党 女性現職は働きます



通学路の安全対策や**道路の除草**を求める要望がたくさんあがっています。

日本共産党は、地域の要望を市役所に伝えるとともに、県に対しても道路の維持管理、**歩道整備**や**信号機**の設置予算を増額するよう毎年申し入れています。



日本共産党は、旧ソ連時代から**ロシア**の覇権主義を許さず、日本共産党への干渉とたたかってきました。また、**中国**の領海侵犯や人権弾圧を最も厳しく批判し、事態打開の方策を提案。これからも、**自由と民主主義、人権**をまもる社会変革をめざします。



乗合タクシーを運行するよう日本共産党は市に提案しています。循環バスの運行やタクシー券支給(年間42枚)に加えて、安くて便利な乗合タクシーを小美玉市でも実現させましょう。



補聴器の購入に補助を行う自治体が増えています。日本共産党は、市として補聴器の利用を支援し、生活の向上や認知症予防に役立てるよう働きかけています。



日本共産党は、**小川総合支所**にエレベーターを設置して、施設をバリアフリー化するよう求めました。**美野里中体育館**にエアコン新設、公民館など公共施設のエアコン修繕を提案しています。**玉里保健福祉センター**に職員を常駐させ、子育て・高齢者支援の窓口を確保すべきです。

